

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立玉出小	学校	児童数	40
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.23	17.43	34.22	32.48	28.65	9.93	138.70	20.00	46.57
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.12	16.18	39.47	32.38	24.24	10.05	132.06	13.76	50.63
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

- ・大阪市や全国の平均を上回っているのは、握力（男・女）と長座体前屈（男・女）、ソフトボール投げ（女子）であり、その他は平均を下回っている。
- ・体力合計点においても、男女ともに平均を下回っており、男子のほうが差が大きい。
- ・「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は、男子が91.3%、女子が88.2%であった。また、男子が「嫌い」と回答する割合は0%であった。
- ・1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が4.3%と市や全国の平均を下回り、女子が23.6%と上回っていた。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、体力向上の取り組みを「玉小チャンピオンシップ」と名付け、各学期にそれぞれ1つの種目に特化し、毎日15分休みに、全校で運動に挑戦する週間を設定し、取り組んできた。また、5・6年生では「夢・授業」トップアスリート事業で、バレーボール選手を招いて、直接、バレーボールの基本的な動きや実戦を行う授業を行っていただけた。児童は、少しずつボールを打ち返すことができる楽しさを味わい、どんどん意欲的に参加することができるようになった。

男女ともに20mシャトルランの結果が平均を大きく下回り、持久力に課題があると考えられる。そのため、心肺機能の向上や持久力の強化を中心に、全般的な運動能力向上の取り組みを行っていきたいため、「玉小チャンピオンシップ」の内容を検討していく。